

津呂の海成段丘

土佐清水地域の特徴は、特に海面位またその近くで、平坦で耕作に適した土地がないことです。森に覆われた丘が沿岸にそびえ、建造物や田畑向けの場所はほとんどありません。唯一の例外は、いわゆる海成段丘であり、沿岸に散見されます。階段のような形状をしており、通常は海拔十数メートルのところにあります。地元の言葉で駄場と呼ばれるテーブル状の地形は、何千年にも及ぶ浅水域での海食作用で形成されました。地盤隆起および度重なる海面位変化によって、徐々に波間から出現したと考えられています。

海成段丘では農業が可能であり、伝統的に野菜や他の作物の栽培が行われてきました。津呂の周辺および大谷では現在でも行われています。津呂ではツバキや他の樹木が段丘畑の周りに植えられており、作物を風から守っています。大谷では駄場に水田があり、かんがいは江戸時代（1603～1868 年）に整えられました。